



城山 COM COM 通信



三春小学校学校運営協議会広報 第4号

三春小学校は学校運営協議会があり、コミュニティ・スクールになっています。

コムコム

地域と学校を結ぶ
子どもたちのための応援通信です。

平成 29 年 3 月 7 日発行

【発行】三春小学校運営協議会
(三春町立三春小学校内)
三春町字大町 1 5 7
Tel 0247-62-3101

【運営委員会委員】

会長 伊藤敏幸
(学識経験者)
副会長 吉田将史
(学識経験者)
副会長 橋本玲子
(保護者代表)
委員 高橋龍一
(地域代表)
委員 遠藤光子
(地域代表)
委員 相川義則
(地域代表)
委員 大河原輝男
(学識経験者)
委員 千葉富子
(学識経験者)
委員 佐藤恵美子
(学識経験者)
委員 橋本俊宏
(地域代表)
委員 國分研治
(地域代表)
委員 織田島浩孝
(行政関係者)
校長 太田文枝
教頭 遠藤謙一
教諭 関 剛男
教諭 後藤裕子
教諭 遠藤 淳
教諭 赤沼佳子
教諭 佐藤裕子

今年度最後の協議会。これまでの活動を振り返るとともに、次年度に向けた話し合いが行われました。1年間会の運営に、ご理解とご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

(1) 平成28年度後期学校運営について(1~3月)

(2) 平成29年度教育課程承認について

○通常学級、特別支援学級の教育課程についての説明と承認

Q~本校の教育課程でたいへんなところはどこか?

A~特別支援学級と通常学級の交流が盛んに行われているため、各教科や行事の練習などで時間割に変更があった場合、時間的にも人的(介助員の配置等)にも、調整がたいへんである。

Q~英語が教科化になったら、増えた時数はどう確保するのか?

A~他教科の時数が減ることはないため、モジュール、土曜授業、夏休み授業など検討していく必要がある。モジュール以外は、今後市町村単位で決定される。ただし、本来は余剰時数があるので、今後土曜登校を実施したとしても、数回で足りるだろう。

→土曜授業をするには、保護者の意向もあるのではないかな。

→小学校の変革は、中学校と連携がとれていなければ効果がない。

(3) 各委員より

- ・ 本会に参加して、たいへん勉強になった。地域は学校へ、学校は地域に目を向けていく視野が広がった。
- ・ 本会でもなければ、教育課程編成に地域が意見を言う場はない。全国的に見ても、学校運営協議会を設定している学校が少ないが、本会は県に意見を出せる力もあり、重要性を感じている。
- ・ 学校評価について、先生方が本当に困っていることが知りたい。先生方は無理をせず、がんばってほしい。できる限りサポートしていきたい。
- ・ 朝にゴミを出していたら、本校の児童が手伝ってくれて感動した。素晴らしい教育をしていることが伺える。本校に通わせたくて、三春町在住を選択した方もいるという。「三春の教育」の魅力は何なのか、もっと知りたい。
- ・ 本会委員であることで、「はばたけ三春っ子」の招待状をいただけることが何よりも楽しみである。今後も本校児童の成長を見守っていきたい。
- ・ これまで、委員の方々から幅広い意見をいただいた。今後も子どものため、「つながり」を大切にしていきたい。
- ・ 委員の方々の「三春魂」を感じている。特別支援学級への職員加配についても、本会を通して県に意見を上げることができた。コミュニティの支えは、教育活動推進のエネルギーになっている。